



☆ 暖かくなりました。

今年は、少し花の便りが遅かったようですが、桜の花も咲いて、本格的に春になりましたね。いろいろな物が産まれる季節です。そこで、誕生の喜びを味わえる絵本と、お出かけしたくなる本を集めてみました。楽しんでみてください。

それから、去る2月16日、うさこちゃんの作者、ディック・ブルーナさんが亡くなりました。楽しいうさこちゃんのシリーズだけでなく、たくさんの楽しい絵本を生み出してくれました。そこで、春の絵本と一緒に、ブルーナさんの絵本も集めてみました。ご冥福を祈りたいと思います。



春と「うさこちゃん」



絵本・ちいさなうさこちゃん

ディック・ブルーナ文・絵、石井桃子訳、福音館書店

大きな庭の可愛い家に、ふわふわさんとふわおくさんが住んでいました。ある晩、ふわおくさんのもとへ天使がやって来て、「じき赤ちゃんができますよ。」と言いました。そして、生まれたのがうさこちゃんです。

人気シリーズの第1作目。シンプルで、リズムカルな文章と、原色で単純な絵は、小さな子どもの心を引きつけます。

絵本・うさこちゃんとどうぶつえん

ディック・ブルーナ文・絵、石井桃子訳、福音館書店

ある日、うさこちゃんは、とうさんと汽車に乗って動物園へ。まずは、オウムにごあいさつ。それから、シマウマ、カンガルー、ゾウ、……と、いろいろな動物たちを見て回ります。

動物園での楽しい一日を描いた絵本。うさこちゃんと一緒に、動物園を巡ってみるのも楽しいですよ。

絵本・こいぬのくんくん

ディック・ブルーナ文・絵、松岡享子訳、福音館書店

くんくんは、小さな茶色の子犬です。ある朝、小さな女の子、スーキーがいなくなったことを知ったくんくんは、スーキーを探しに飛び出していきます。カタツムリ、小鳥、ウサギと聞いて回りますが、誰も知りません。その時、……。可愛いくんくんが大活躍する絵本です。

絵本・はらぺこあおむし

エリック・カール作、もりひさし訳、偕成社

葉っぱの上に小さな卵が一つ。ある暖かい日曜日の朝、その小さな卵から、小さなアオムシが産まれます。アオムシは、おなかがぺっこぺこ。そこで、いろいろなものを食べて、大きくなって、やがて……。

大胆な構図と、色鮮やかなコラージュがお話を引き立てます。ちょっとした仕掛けもありますよ。



絵本・はるです はるのおおそうじ

こいでたん文、こいでやすこ絵、福音館書店

3匹のネズミたちが、春の大掃除をしていると、リスの親子が通りかかります。家にあったカーテンを気に入ったリスのお母さんに、ネズミは、「よかったらどうぞ！」と、カーテンをあげてしまいます。その後、次々に動物たちがやって来て……。最後は、素敵なプレゼントをもらいますよ。



☆ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

今回は
時間
場所

5月20日(土)、6月17日(土)
午後3:00~3:30
西部図書館 お話し会のへや





☆ 雨の季節、到来！

今年もとうとう梅雨入りしました。まだまだ、毎日雨、というほどではありませんが。それでも、空気はジメジメしていて、なんだか憂鬱な気分です。そこで、今回は、うっとりしい気分を吹き飛ばすような楽しい絵本を集めてみました。絵本を読んで、少しはすっきりしていただけると嬉しいです。



雨、あめ、アメ



絵本・ピーターのがみ

エヌラ=ジャック=キーツ作、木島始訳、偕成社

ピーターは、エイミーをお誕生会に呼ぶために手紙を書きます。ところが、女の子を一人だけ呼ぶと、他の男の子たちにどう思われるだろう、と考えるうちに、手紙が強い風にさらわれてしまい…

複雑なピーターの気持ちを背景で表した、美しいコラージュ(はり絵)の絵本です。

絵本・雨、あめ

ピーター・スピア作、評論社

子どもたちが庭で遊んでいると、おや？雨が降ってきました。そうしたら、今度は散歩の時間です。レインコートを着て、帽子をかぶって、長ぐつを履いて、傘を差したら、さあ、雨の中へ飛び出しましょう。

コマ割りの絵のみで綴られた、字のない絵本。表紙の裏の見返しから物語が始まりますよ。

科学絵本・しずくのぼうけん

マリア・テルリコフスカ作、ポフダン・ステンコ絵、内田莉沙子訳、福音館書店

バケツから飛び出した、一しずくの水は、一人ぼっちで冒険の旅に出ます。お日様に照らされ、水蒸気になって雲まで昇り、雨になって、また、地上に降り立ち、今度は川になって……。

たった一滴の水の、長い長い冒険のお話を、幼い子にも分かるように描いた科学絵本です。

絵本・ふたりはともだち

アーノルド・ローベル作、三木卓訳、文化出版局

がまくんとかえるくんはとっても仲よし。たまにケンカもするけれど、いつも一緒です。ここには、そんな二人の、ちょっぴりユーモラスなお話が5話収められています。セピアとモスグリーンを基調とした絵もほのぼのとして、お話の世界を盛り上げています。シリーズでどうぞ。



絵本・ジェレミー・

フィッシャーどんのおはなし

ビアトリクス・ポター作・絵、石井桃子訳、福音館書店。(ピーターラビットの絵本)

カエルのジェレミー・フィッシャーどんは、ある日、雨が降っているのを見て、小魚を釣りに行こうと考えます。たくさん小魚を釣るつもりで出かけたのですが……。

さまざまな不運に見舞われるフィッシャーどんを、ユーモラスに描いた絵本。精緻な絵も美しいですよ。



☆ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は 7月15日(土)、8月19日(土)
時間 午後3:00～3:30
場所 西部図書館 お話し会のへや





みみずく通信

No.86
2017.7.15

発行：すばなしの会みみずく

HP：https://subanashi.jimdo.com/

☆ そろそろ夏休み！

そろそろ夏休みですね。海に山に、楽しいことがたくさん待っています。そして、絵本の中にも、楽しいことがいっぱい。絵本の中の登場人物たちも夏を満喫しています。遊びや勉強の合間に、ちょっと本の世界を旅するのも楽しいものですよ。



楽しい夏！！



絵本・ふなのりのやん

ティック・フルー文・絵、松岡享子訳、福音館書店

船乗りのやんは、自分の船を持っています。やんは、その船で航海に出ます。大海原を先へ先へと進んでいくと、やがて、島が見えてきました。

今年2月に亡くなった、うさこちゃん(ミッフィー)の生みの親、ブルーナの作品。やんとエスキモーが友達になるお話です。やんのお話はもう一つありますので探してみてください。

絵本・くんちゃんのもりのキャンプ

ドロシー・マリノ作、間崎ルリ子訳、ペンギン社

子グマのくんちゃんは、いとこのアレックと森へキャンプに出かけます。途中で、コマドリに巣の作り方を教わったり、アヒルに泳ぎ方を習ったり…。

一つ一つ失敗しながらも、きちんとしたクマらしいやり方を学んでいくくんちゃんに、子どもの成長を教えられる一冊です。

絵本・おぼけのバーバパパ

アネット・キソンとタラス・テイラー作、

山下明生訳、偕成社

フランソワが、庭で花に水をやっていると、バーバパパが産まれてきました。二人はすぐに仲よしになったけど、バーバパパは大きすぎて、家に置けません。そこで、バーバパパは動物園へ行くことに。

自由自在に姿を変えられるバーバパパが大活躍するお話。他にもたくさんありますので、シリーズどうぞ。

絵本・こぐまちゃんのみずあそび

わかやまけん作、こぐま社(こぐまちゃんえほん)

花に水をあげるのは、こぐまちゃんの仕事です。でも、じょうろには水がまだいっぱい。そこで、こぐまちゃんが、金魚やアリにも水をあげていると、しろくまちゃんがホースを持ってきて……。

明るい色彩と単純化された絵で、子どもの日常を生き生きと描いた絵本。子どもたちにとっぴり遊んだ後と同じ満足感を与えます。

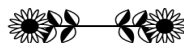
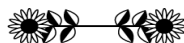
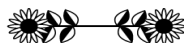
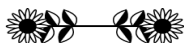
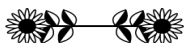
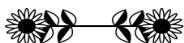


絵本・ベンジーのふねのたび

マーガレット・フロイ・クレアム作・絵、

渡辺茂男訳、福音館書店

イヌのベンジーは、毎年、飼い主家族と一緒に夏の旅行へ行くのが楽しみ。ところが、今年は船旅で、動物は乗れないから、と連れて行ってもらえません。ある朝、港へ行くと、みんなが乗って行った船によく似た船が泊まっています……。かわいベンジーの大冒険。すてきなお土産が待っていますよ。



次回は

8月 19日(土)、9月 16日(土)、

10月 21日(土)

時間
場所

午後 3:00 ~ 3:30
西部図書館 お話会のへや



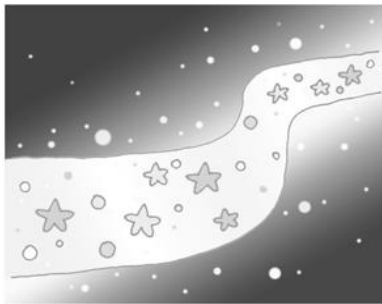
いろいろ観察



☆ 夏休みだからこそ、じっくり、ゆっくり読みたい本もあります。そして、そこから、どんどん世界が広がって、もっともっとうろく知りたくなることもあります。ここでは、そんな興味を誘ってくれる本を集めてみました。楽しんでみてください。

絵本・**ほね、ほね、きょうりゅうのほね**
 バイロン・パートン作、掛川恭子訳、ポプラ社

“ほねはないか。ほねはないか。”
 探検隊が恐竜の骨を探して歩いていきます。見つけた骨は、掘りだして、博物館へ運び、組み立てます。
 骨太な線に、原色の絵が、幼い子に分かりやすい、シンプルでリズムカルな文章によく合った絵本。恐竜好きな子が喜びそうな一冊です。



絵本・**せかいのひとびと**
 ピーター・スピア文・絵、松川真弓訳、評論社

地球にはいろいろな人がいます。体の大きさ、肌の色、顔の形、着ているもの、一人一人違ってはいますが、それぞれがみんなすてきです。この本は、世界中の民族、風習、言語、文化などを、細密な絵と、分かりやすい文章で紹介した科学絵本です。違うことの美しさ、素晴らしさを教えてください。

科学読物・**星座を見つけよう**
 H・A・レイ文・絵、草下英明訳、福音館書店

よく晴れた夜、空を見上げるとたくさんの星が見えます。その星を一つ一つつなげて星座を見つけるのは大変なこと。この本は、星や星図を使って、星座の名前や見つけ方を、分かりやすく解説してくれます。星座ばかりではなく、星の名前や明るさの違いなども説明されています。本を持って、夜空を見るのも楽しいですよ。

科学読物・**さんごしょうの生きもの**
 ジェイン・パートン写真、バーバラ・テイラー文、武田正倫訳、岩波書店(クローズアップ図鑑)

サンゴ礁にはいろいろな生き物がいます。風変わりな魚や派手な色の魚、サンゴを住処にする魚もいれば、魚の寄生虫を捕るエビもいます。みんな、サンゴとともに、サンゴを活用して生活しています。この本は、そんな生き物を、大きくクローズアップした図版で紹介した図鑑です。

科学読物・**アサガオ ~たねからたねまで~**
 佐藤有恒写真、中山周平文、あかね書房(科学のアルバム)

アサガオの、種まきからまた種が採れるまでの変化を、詳細で美しい写真とともに、観察日記風に解説した科学の本です。その歴史や、蔓の特性、花、葉、種の仕組みも分かりやすく書かれています。またアサガオを育ててみるのも楽しいかもしれませんよ。

★ **すばなし会のお知らせ**

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来て下さい。

次回は **8月 19日(土)、9月 16日(土)、10月 21日(土)**
 時間 **午後 3:00 ~ 3:30**
 場所 **西部図書館 お話しのへや**





☆ すっかり秋。

ついこの間まで、暑い暑いと言っていたのに、すっかり秋どころか、冬の寒さの日もあるくらいです。辺りには枯葉が舞い、店先にも秋の実りが顔をそろえてきました。そこで、今回は、そんな秋を満喫する絵本をそろえてみました。長い夜、読書の秋を楽しんでみてはいかがでしょうか。



秋が来た！



絵本・ぐるぐるちゃん 長江青文・絵、福音館書店

子リスのぐるぐるちゃんは、お母さんとドングリ拾いにやってきました。森にはドングリがいっぱい。ほっぺがぼっこりするくらい口に入れたり、しっぽに詰めたり。

楽しい秋の一日を、かわいらしい絵で綴った絵本。ぐるぐるちゃんたちのようにドングリ拾いも楽しいかもしれませんよ。

絵本・パパ、お月さまとって！ エリック・カール作、もりひさし訳、偕成社

モニカがお月さまと遊びたがったので、パパはお月さまを取りに行くことに。たかーい山のとっぺんに、ながーいはしごを立てて、お月さままで着いたけど、お月さまは大きくて……。

明るくて、美しい色彩のコラージュで作られた、楽しいしかけ絵本。画面いっぱいのお月さまは迫力がありますよ。

絵本・くんちゃんのだいいょうこう ドロシー・マリノ文・絵、石井桃子訳、岩波書店

子グマのくんちゃんは、寒くなってきたので南の国へ行くのだと鳥から聞き、自分も一緒に行ってみたくなります。鳥を追って丘を登ったくんちゃんは、お母さんにお別れのキスをし忘れたことを思い出し……。

幼い子の好奇心豊かで、無邪気な姿と、それを見守る大人たちの優しさにあふれた絵本です。

絵本・いまはあき ロイス・レンスキー作、さくまゆみ訳、あすなろ書房

色づいた落ち葉、リンゴや木の実の収穫、夏休みが終わって、学校も始まります。大きなカボチャが実ったら、中をくり抜いて、顔を彫って、ろうそくを灯し、紙で飾りを作ったら、ハロウィンのお祭りです。秋の楽しいことを、かわいらしくて、色鮮やかな絵で紹介した絵本です。



絵本・森へ 星野道夫文・写真、福音館書店

“ぼく”は朝霧の海をカヤックで進んで行きます。深い入り江の先は原生林の世界。そして、“ぼく”がクマの道をたどって森の中へと踏み込んでいくと……。

アラスカの写真集でおなじみの星野道夫の写真絵本。迫力あふれる写真と、淡々と語られる文章をお楽しみください。



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

今回は 11月18日(土)、12月16日(土)
時間 午後3:00～3:30
場所 西部図書館 お話し会のへや



《お知らせ》11月3日(金・祝)、当会では、小学校高学年以上を対象にしたすばなし会を開催いたします。お誘いあわせの上、ご来場お待ちしております。



みみずく通信

No.88

2017.12.16

発行：すばなしの会みみずく

HP：<https://subanashi.jimdo.com/>

☆ MERRY CHRISTMAS & HAPPY NEW YEAR!

早いもので、もう一年の終わりの月です。街は、イルミネーションで輝き、人々はせわしなく行きかい、今年一年を惜しむ様でもあります。そこで、今回は、ワクワク気分を盛り上げるクリスマスの本と、新年を祝う本をご紹介します。楽しんでみてください。



メリー・クリスマス!



絵本・ **サンタおじさんのいわむり**

ルイス=ファチオ作、前田三恵子文、柿本幸造絵、偕成社

クリスマスイブの夜、サンタおじさんはプレゼントを配りに出かけます。ところが、途中で眠くなったサンタおじさんは、ほんの少し休むつもりで眠ってしまい……。

森の動物たちが大活躍する絵本。かわいらしい絵で、ほのぼのとしたお話を伝えます。『クリスマスの森』(福音館書店刊)も併せてどうぞ。

絵本・ **クリスマスにはおひげがいっぱい!?**

～ほんとのサンタさんの話～

ロジャー・テュボアザン作、今江祥智&遠藤育枝訳
BL出版

クリスマスの日、町の中は、にせもののひげを付けた、にせものサンタだらけです。ドア・ボーイのサンタ、サンドイッチマンのサンタ、お百姓のサンタ、……。怒った本物のサンタさんは、にせもののひげを次から次へと奪っていき……。本当はとっても優しいサンタさんのお話です。

絵本・ **サンタクロースと小人たち**

マウリ=クナナス作、いながきみはる訳、偕成社

フィンランドの北のはずれには、とても不思議な村があります。その村で、サンタクロースは、たくさん的小人やトナカイに囲まれて暮らしています。この本は、そんなサンタクロースと小人たちの一年間を綴った絵本です。細部まで描きこまれた絵は楽しく、一つ一つじっくり見たくくなりますよ。

絵本・ **さんさんさんかく**

得田之久文、織茂恭子絵、童心社

赤い三角と緑の三角、くっついたら……あれあれ、イチゴになった。

画面いっぱいいろいろな色の三角がくっつくと、イチゴになったり、傘になったり、カエルになったり……。子どもの身近にあるものに大変身。幼い子の想像をかき立てる絵本です。



読物・ **しあわせなモミの木**

シャーロット・ソロトウ文、ルース・ロビンス絵、みらいなな訳、童話屋

ある町に、落ち着いた建物の並ぶ、美しい通りがありました。ある日、その通りの空き家に、クロケットさんが越してきました。クロケットさんは、ある年のクリスマス、枯れかけた小さなモミの木を買い、毎日その木の世話をするようになりますが……。

とても素晴らしい結末が待っている、心温まるお話です。



次回は
時間
場所

2018年 1月 20日、 2月 17日
午後 3:00 ~ 3:30
西部図書館 お話会のへや



あけましておめでとうございます

☆ 2018年の干支は戌(いぬ)です。そこで、イヌの絵本と、新年を迎える絵本をご紹介します。新しい年、のんびり読書でもいかがでしょうか。



絵本・ **じょやのかね**

とうごう なりさ作. 福音館書店

今日は大晦日。真夜中の12時になったら、新しい年が来る。ぼくは、除夜の鐘をつきに連れていってもらえる約束になっているんだ。

初めて除夜の鐘をつきに行く男の子のお話。墨だけの版画による絵は、お話の世界をよく表していて、男の子の緊張感や期待感、暗い道の空気感まで伝えてくれます。



絵本・ **十二支のしんねんかい**

みきつきみ文. 柳原良平画. こぐま社

十二支がそろって集まって、これから新年会です。まずは、みんなのご紹介。語呂のいい言葉と、漫画調の絵で、十二支の動物たちを楽しく紹介した絵本。来年の干支は戌(いぬ)です。戌は、子育て、見守り、楽しい友達だそうですよ。

絵本・ **3びきのこいぬ**

マーガレット・G・オットー作. バーバラ・クーニー絵. 安藤紀子訳. 長崎出版

‘ダックスフントのこいぬがいるよ。

1ぴき、2ひき、3ひき。’

マーヴェラスおばさんの家にいる、仲良しで、かわいらしい3匹の子犬の日常を描いた絵本。お買い物の帰りに友達を作ったり、森へ行って迷子になったり、大冒険です。バーバラ・クーニーの暖かみのある絵でどうぞ。

絵本・ **1ねんに365のたんじょう日**

プレゼントをもらった

ベンジャミンのおはなし

ジュティ=バレット作. ロン=バレット絵. 松岡享子訳. 偕成社

9歳の誕生日にパーティを開いたベンジャミンは、贈り物の包みを開けるのが大好き。でも、楽しい1日はすぐに終わってしまいます。そこで、ベンジャミンは毎日贈り物を開ける方法を思いつきます。さて、その方法とは？ベンジャミンが10歳の誕生日にももらったものは？ベンジャミンと一緒に楽しんでみてください。

絵本・ **ハリーのセーター**

ジーン・ジオン文. マーガレット・フロイ・クレアム絵. 渡辺茂男訳. 福音館書店

ハリーは、黒いぶちのある白いイヌです。ハリーはお誕生日に、おばあちゃんからバラの模様のセーターをもらいました。ところが、ハリーは、そのセーターが気に入らず……。

元気で、賢いハリーが活躍するシリーズの1冊。びっくりする結末が待っていますよ。

★ すばなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来て下さい。

次回は
時間
場所

2018年 1月 20日, 2月 17日
午後 3:00 ~ 3:30
西部図書館 お話し会のへや





☆ 寒さに負けるな！

今年は冬のオリンピックが開催され、連日熱戦に感動をもらっています。でも、熱い戦いとは裏腹に、日常では寒さでなかなかコートが手放せない日が続いていますね。そこで、今回は、雪の絵本と、寒さを吹き飛ばす遊びの絵本をお届けします。絵本と一緒に楽しみましょう！



雪がいっぱい！



絵本・このゆきだるま だーれ？

岸田衿子文、山脇百合子絵、福音館書店

もみちゃんがソリを引っ張っていると、動物たちが集まってきて、みんなでソリ滑りをすることに。みんなでソリに乗って、山の上から滑って来たけれど、次から次へと動物たちがソリから転がって…。

軽快な文章と、かわいらしい絵で、雪の日の楽しい一日を描いています。

絵本・だるまちゃんとうさぎちゃん

加古里子作・絵、福音館書店（こどものとも傑作集）

だるまちゃんとだるまこちゃんが雪で雪だるまを作りました。目にしようとしたりんごが転がって、うさぎちゃんとうさぎこちゃんに止めてもらったので、みんなで一緒に遊びます。雪うさぎや手袋人形、他にもいろいろなものでうさぎを作ります。読んだ後は、まねして作ってみたくくなりますよ！

絵本・シラユキさんと

あみあみモンスター

アンネマリー・ファン・ハーリンゲン作、野坂悦子訳
BL出版

ヤギのシラユキさんは編み物するのが大好き。チキチキ チッキ チッキチキ…ほら、子ヤギが編み棒から生まれました。でも、ヒツジおばさんは悪口ばかり。シラユキさんは、ふんぷんしながら編んだので、オオカミを編んでしまいました。そして、どんどん怖いものが出てきて… 怖いところもありますが、最後はシラユキさんの機転でほっとします。毛糸の色や質感もおもしろい絵本です。

絵本・おしくら・まんじゅう

かがくいひろし作、フロンテス新社

「おしくらまんじゅう、おされて…」で、おされるのは、おまんじゅうに、こんにやくに、納豆に??? 身体を温める楽しい遊びが、ゆかいな絵本になりました。

明るい色彩の絵と、単純な繰り返しの文章で、子どもの遊びの世界を描き出しています。お子さんと一緒に、遊びながら読んでみては。



絵本・あさがくるまえに

ジョイス・シドマン文、ベス・クロムス絵
さくまゆみこ訳、岩波書店

夜、子どもが眠る時間におかあさんは仕事で家を出て行きます。「朝がくるまえに 世界をかえて」と子どもは願います。すると、雪が降って、世界はまっ白な世界に…パイロットのおかあさんは家に帰り、子どもと穏やかな時間を過ごします。

スクラッチボード(表面の黒い色を削って下の色を出す技法)と水彩で描かれた美しい冬の絵本です。

★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は **3月17日(土)・4月21日(土)**
時間 **午後3:00～3:30**
場所 **西部図書館 お話し会のへや**